

医療的ケアを必要とする小児在宅医療患者のための メディカルショートステイ実施状況調査実施概要

1 調査の目的

本調査は、障害者総合支援法に基づく短期入所サービス（医療型短期入所及び福祉型短期入所）には該当しない、レスパイト（※1）を目的とした入院（いわゆるメディカルショートステイ（※2））についての実施状況及び受入条件等の運用状況を把握し、医療的ケアを必要とする小児在宅医療患者（※3）を支える体制整備のための基礎資料とするとともに、必要とされる方への情報提供を行い、活用いたします。調査結果につきましては、ご回答いただいた市町村にも提供いたしますので、把握されている範囲で調査へのご協力をお願いいたします。

※1 レスパイト

「在宅で重症心身障害児者を介護されているご家族の方が、病気や出産、冠婚葬祭、旅行などの理由により一時的に介護ができなくなった時に短期間入所し、看護、療育、日常生活の支援（食事の提供、入浴等）、健康管理及び医療を受けるための支援」を意味する。

※2 メディカルショートステイ

主たる目的が在宅管理の適正度を判断する「医療」であり医療法上の入院であるが、従たる目的がレスパイトなど「福祉」目的の入院制度

※3 医療的ケアを必要とする小児在宅医療患者

人工呼吸、経管栄養、気管切開、中心静脈栄養等、常時医学的管理を必要とする小児患者を想定

2 調査対象

県内市町村の障害福祉の所管課

3 調査方法

- （1）調査回数：1回
- （2）調査方式：調査票によるアンケート調査
- （3）回収方法：メールもしくはFAX
- （4）実施時期：平成28年7月～8月

4 調査の活用

会議資料として使用するほか、事前了承を得られた場合は市町村へ情報提供、HPに掲載することも検討

5 調査票骨子

- （1）メディカルショートステイ実施状況の有無、具体的な受入条件

- (2) 市町村独自の財政的支援の有無（公的病院だけでなく民間病院も含む）
- (3) メディカルショートステイ運用にあたっての課題
- (4) 市町村への情報提供、HP 掲載の可否